

平成 29 年度 学術研究発表ブラッシュアップセミナー

『学会発表を成功させるコツ ～7 分間で伝えるには～』

公益社団法人 日本放射線技術学会 近畿支部
学術委員会

「研究の入口と出口」

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 齋藤茂芳

皆さんは研究をする上でまず何から始めますか？また何をもって研究が終わったと判断しているでしょうか？データを取り始めることが研究の入口、学会発表が出口でしょうか？研究に取り掛かる上で重要なことは、前準備をしっかりとすることだと考えます。本講義では研究の前準備、研究の入口、研究の出口の設定について、学会発表の位置づけや論文化を踏まえ研究を実施していく一連の流れについて一緒に考えたいと思います。

「研究倫理」

JSRT 近畿支部 倫理審査相談員

大阪急性期・総合医療センター 櫻山 和幸

日本放射線技術学会(以下、本学会)が取り扱う“放射線技術学”は、医学と工学の両方に深い関連があり、本学会で行われる研究発表や論文掲載における倫理に関しては、本学会独自の倫理に関する判断が必要となる場合が多い。本学会では、平成 24 年 4 月に倫理規定を制定し、倫理規定を理解するために「倫理規定の適切な取り扱いのためのガイドライン」を公開している。

本講義は、本学会の倫理規定に基づき、研究や教育等の学会活動を行う際の道標となる“ガイドライン”を解説し“研究倫理”への理解を深めて頂きたいと考えます。

「私の考える、研究・学会発表のコツ」

医真会八尾総合病院 星野貴志

本項では、研究発表を行うために必要な基本的な考え方について解説します。発表することで、研究の欠点や正当性が確認でき、研究内容がよりブラッシュアップされていきます。しかし、プレゼンテーション(発表スライド)が、聴衆の理解に適していなければ研究内容が理解されず、正しい評価を受けることができません。実際のスライドを例にあげながら、研究デザイン、スライド作成を含めたプレゼンテーションの工夫や留意すべき点を説明します。

「私の考える、研究・学会発表のコツ」

都島放射線科クリニック 辰己大作

プレゼン作成で特に意識していることが2点ある。“①自分と聴衆が面白いと思える内容か？”，“②聴衆をイメージして、聴衆に伝わる分かり易い内容か？”である。プレゼン作成の完成度が高いと、研究内容が聞き手に伝わりやすくなり、発表する本人もスムーズなプレゼンの流れができ、発表しやすくなる。本セミナーでは JSRT 総会で大会長賞を頂いた発表等を題材に、私が普段、発表において留意している点をお伝えする。